

令和5年度教職経験者研究協議会Ⅰ【1年間の自己の振り返り（成果と課題）】

◆本研修における自己の成果を振り返り、「札幌市教員育成指標」の各観点についての

グループ	学 校 名	氏 名
G		

自己評価（4段階）と、「成長した点」、「課題となる点」を記入してください。（※【4】成果があった 【3】ある程度成果があった 【2】少し課題がある 【1】課題がある）

観 点	自己評価 4段階	成長したこと	課題や今後の目標
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ■学校の特色を生かし、子どもの実態や教科のねらいに応じた多様な授業を構築している。（授業構築） ■ねらいに応じた教材の開発や指導方法の効果的な活用の工夫をするなど、確かな指導技術を身に付けている。（授業技術） ■授業改善の意識を常にもち続け、より効果的な手だてを考え、次の実践に活かしている。（授業評価・改善） 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもを取り巻く状況を、広い視野から捉え、深く理解し、寄り添った対応をしている。（子ども理解） ■よさや持ち味を生かしながら、ビジョンをもって学年・学級等の運営に当たり、どの子にも適切に対応している。（人間関係づくり） ■家庭や地域をはじめ、関係機関と連携しながら、校内組織を活用し、状況に応じて適切に課題解決している。（組織的な対応） 		
教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について深く理解し、実践的指導力を身に付けている。（特別支援教育に関する専門性） ■授業等におけるICTの効果的な活用方法の開発や、子どもの情報モラル・情報セキュリティを含め、情報活用能力の育成を系統的に進めている。（ICTの活用指導力） 		
マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ■学年経営等の組織運営に進んで参画し、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行っている。（学校づくりへの参画） ■危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。（危機管理） ■家庭や地域、関係機関と関わりを深め、適切に連携・協働して対応している。（関係機関等との連携） ■教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手だてなどを考え、同僚と協働し、ともに支え合い、効率的かつ適切に対応している。（教育課程への協働的な対応） 		